

研究課題(テーマ)		学生による面接指導を取り入れた再試験の実施(学習相談)	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	工学部教養教育センター	教授	福原 忠
	〃	教授	室 裕司
	〃	准教授	谷田 博司
	〃	准教授	三本 啓輔
	〃	准教授	柳 有起
研究結果の概要			
<p>物理学 ・ は工学を学ぶ学生にとって基幹となる科目である。それゆえ講義内容をしっかりと理解させることが必要であるが、学生の基礎学力の低下が進み、講義を聞いて自己学習するだけでは内容を十分理解できず、落第する学生が増えている。そのような学生に対して特段のフォローをせず、自己学習に任せて必修科目の不合格を繰り返した場合、専門科目の履修に与える影響が深刻である。それゆえ、内容はきちんと理解させた上で、再履修にさせることなく一定の合格率を維持することが望ましい。</p> <p>教養教育センターの物理学担当者は、物理学 ・ の不合格者に対し、補習として3回の面接指導を行った上で再試験を行うことで、個々の学生のレベルに応じた丁寧な指導を実施している。その結果、令和4年度後期の物理学 、令和5年度前期の物理学 において、それぞれ〇〇%(物理学)、〇〇%(物理学)の学生を再履修させることなく合格に導いた。</p>			
今後の展開			
今後も、面接指導を取り入れた再試験により、本学の教育のレベルの確保に努力する所存です。			